

ワクチンの接種方法・間隔について

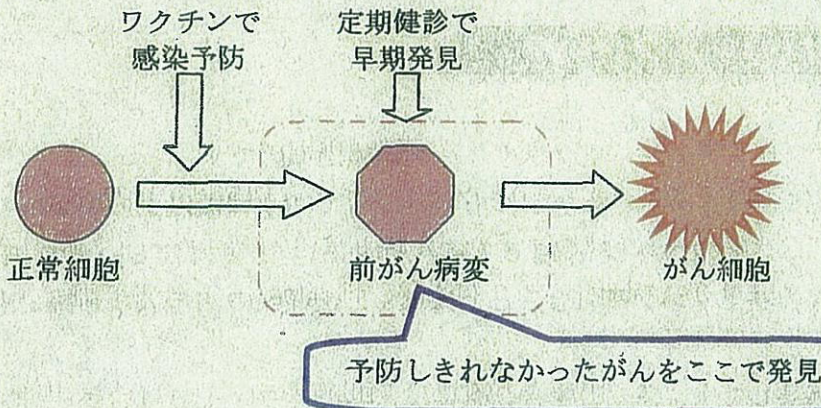
ワクチンは、半年の間に合計3回接種します。(初回、1ヵ月後、6ヵ月後)3回接種することで、十分な効き目が得られます。ワクチンは、肩に近い腕の筋肉に接種します。

予防接種と定期的な検診で命を守ろう

子宮頸がんを予防するワクチンは、16型・18型を予防しますが、その他の発がん性HPVは残念ながら防ぐことはできません。

そのため、20歳になったら子宮頸がん検診を受ける必要があります。定期的ながん検診を受けることで、早期のうちに発見ができ、子宮のほとんどを残すことができ、妊娠・出産も可能です。

ワクチンと子宮頸がん検診をあわせて行うことで、ほぼ100パーセント死亡をふせげます。



子宮がん検診を受けましょう。

母親の皆さん、子宮頸がん検診を受けていますか？
杉並区では2年に1度、自己負担1,000円で子宮頸がん検診を受けることができます。(職場等で受診機会のない方のみ) まだお受けになられたことがない方、今回を機会にお受けください。

【申し込み方法】

ハガキに右の内容を記入して健康推進課へ。

ハガキの書き方

子宮がん検診希望

住所
フリガナ
氏名
生年月日
年齢
電話番号

【申し込み・問合せ先】 167-0051

杉並区荻窪5-20-1 杉並保健所 健康推進課

03(3391)1015